

# 園芸・特産通信

Vol.6

キャベツ号  
2年10月9日

◎10月1日に農産普及課の改田さんと圃場巡回を実施しました。

・8月の干ばつの時期に定植した圃場で、灌水が遅れてしまったところは**欠株**が目立ちました。  
・10月1日時点で生育は全体的に少し遅く、昨年より**1週間ほど遅れる**予想です。**早生品種**の早い圃場で**11月初旬の収穫**となる予想です。  
中生、晩生品種については今後の生育次第となります。



## ○追肥について

**初恋・輝吉**：今後の追肥は必要ありません。

**藍宝**：雨の降り具合、葉色や葉の大きさを見ながら10月下旬に追肥を行う。

(**尿素** 10kg/10a)

年明け収穫の場合、11月下旬に葉色が薄ければ畝間に追肥を行う。

(**国産化成肥料444** 20kg/10a)

**夢ごろも**：雨の降り具合、葉色や葉の大きさを見ながら10月下旬に追肥を行う。

(**尿素** 10kg/10a)

年明け以降の収穫となるので、11月下旬に畝間に追肥を行う。

(**国産化成肥料444** 20kg/10a)

## ○雑草について

・雑草が多い圃場が散見されました。JAレンタル収穫機をご利用の予定の方は、作業効率の低下につながりますので除草をお願いします。

・葉が畝を覆ってしまえば草は気にならなくなりますがそれまでは畝上の草は手取りをお願いします。



あまり大きくなり過ぎないうちに抜いてしまうのが望ましいです

畝間や周囲には2回まで**バスタ液剤**が使用できます。ただし**収穫45日前**までなのでご注意ください。

## ○病害虫について

- ・どの圃場でも多少の虫食いの被害が見られました。自家散布をしている方は引き続き栽培暦などを参考に定期的な防除をお願いします。
- ・病気については現状目立つものはありませんでした。

結球部分に入り込んで食害を加える  
**ヨトウムシ**です



## ○害虫防除の薬剤

薬剤名	希釈倍率	収穫前日数	使用回数
プレオフロアブル	1000倍	7日前まで	2回以内
フェニックス顆粒水和剤	2000倍～4000倍	前日まで	3回以内
アフーム乳剤	1000倍～2000倍	前日まで	3回以内
スピノエース顆粒水和剤	2500倍～5000倍	3日前まで	3回以内

## ○病害防除の薬剤

病害名	農薬名	希釈倍率	収穫前日数	使用回数
根朽病、べと病 (育苗期間中の根朽病対策)	ダコニール1000	1,000倍	収穫14日前まで	2回以内
菌核病、株腐病	ロブール水和剤	1,000倍	収穫7日前まで	4回以内
べと病	レーバスフロアブル	2,000倍	収穫7日前まで	3回以内
菌核病、株腐病、根朽病	アフエットフロアブル	2,000倍	収穫前日まで	3回以内
軟腐病、黒腐病、黒斑細菌病	カスミンボルドー	1,000倍	収穫7日前まで	4回以内
株腐病、軟腐病、黒腐病	バリダシン液剤5	800倍	収穫7日前まで	5回以内
軟腐病、黒斑細菌病	スターナ水和剤	1,000倍	収穫7日前まで	3回以内

※去年は出荷した後に**菌核病**が出たケースがありましたので特に菌核病の防除は確実をお願いします。

※台風通過後は、必ず**殺菌剤(カスミンボルドー、バリダシン液剤5)**で防除をお願いします。

### ※参考※ JAローテーション防除使用(予定)薬剤

1回目	プレオフロアブル
2回目	フェニックス顆粒水和剤、アフエットフロアブル
3回目	アフーム乳剤
4回目	スピノエース顆粒水和剤

## ○今後の管理

- ・生育後半に圃場が湿気ってしまうと減収につながってしまうので、圃場の排水状態(溝がつぶれていないかなど)を確認してください。

※今後も引き続き圃場巡回、調査をして収穫時期などをお伝えしていきたいと思えます。